

小児外科

1. スタッフ (2020年4月1日現在)

科 長 (教 授)	小野 滋
病棟医長 (助 教)	馬場 勝尚
外来医長 (病院助教)	辻 由貴
医 員 (助 教)	薄井 佳子
医 員	廣谷 太一
	南園 京子
シニアレジデント	2名

2. 診療科の特徴

「子どもと家族に優しい医療」を基本理念とし、世界水準の小児医療を地域医療へ還元することをモットーにしている。さらに数だけでなく、安全で質の高い小児外科医療の提供を行なっている。

・施設認定

日本小児外科学会専門医制度 認定施設
 日本外科学会専門医制度 認定施設
 日本周産期・新生児医学会認定 基幹施設
 日本小児血液・がん専門医研修施設

・専門医

日本小児外科学会 指導医	小野 滋 薄井 佳子
日本小児外科学会 小児外科専門医	小野 滋 馬場 勝尚 薄井 佳子 辻 由貴 廣谷 太一
日本外科学会 指導医	小野 滋 薄井 佳子
日本外科学会 外科専門医	小野 滋 馬場 勝尚 薄井 佳子 辻 由貴 廣谷 太一 南園 京子 關根 沙知
小児血液・がん学会認定外科医	小野 滋
日本がん治療認定医	小野 滋
日本周産期・新生児医学会認定外科医	薄井 佳子
Pacific Association of Pediatric Surgeons active member	小野 滋

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数	274人
再来患者数	4,203人
紹介率	86.8%

2) 入院患者数：425名

3) 手術患者数：376例

3-1) 手術症例病名別件数

主な手術症例病名	術名	件数
気管狭窄症・声門下腔狭窄症	硬性気管支鏡	27
	軟性気管支鏡	2
	レーザー焼灼術	7
	バルーン拡張術	1
	Tチューブ挿入	4
	気管切開孔閉鎖術	2
気道異物疑い	軟性気管支鏡	1
吸気性喘鳴	硬性気管支鏡	1
Goldenhar症候群	硬性気管支鏡、軟性気管支鏡、Tチューブ挿入	1
呼吸不全	気管切開術	10
喉頭気管食道裂	硬性気管支鏡	1
誤嚥性肺炎、経口摂取困難	喉頭気管分離、回復胃瘻造設術	1
肺分画症 (肺葉内)	胸腔鏡下分画肺切除	1
気胸	胸腔鏡下肺部分切除	1
	胸腔ドレナージ	4
胸水	胸腔ドレナージ	1
漏斗胸	Nuss手術	2
	バー抜去術	2
舌小帯	舌小帯切離術	1
甲状舌管嚢胞	シストラング法	1
経口摂取困難	開腹胃瘻造設術	4
胃食道逆流症	開腹Nissen噴門形成術、胃瘻造設術	2
食道閉鎖症	気管食道瘻切離、食道食道吻合術	1
	気管食道瘻切離、胃瘻造設術	1
	食道-食道吻合	1
	食道吻合部狭窄バルーン拡張術、(G-Jチューブ挿入)	2
	Howard法食道吻合部拡張術	9
胃瘻抜去後瘻孔閉鎖不全	胃瘻抜去部閉鎖術	1

胃軸捻転症	内視鏡下胃捻転解除	1
先天性十二指腸閉鎖症・輪状臍	十二指腸-十二指腸吻合術（ダイヤモンド吻合術）	1
肥厚性幽門狭窄症	ラムステッド手術	9
小腸閉鎖症	小腸-小腸吻合術	1
短腸症候群、消化管出血	上部消化管内視鏡（止血クリッピング、観察）	2
	腹膜透析カテーテル挿入	1
腸回転異常症	Ladd手術、虫垂切除	1
盲腸捻転	下部消化管内視鏡下捻転解除	1
	横行結腸ストマ造設術	1
ヒルシュスプルング病（疑い）	直腸生検	6
	経肛門的Soave法	1
	腹腔鏡補助下根治術（Soave法）	1
	ストマ造設術	1
イレウス	腹腔鏡下癒着剥離術、回腸憩室切除	1
	回腸部分切除	1
壊死性腸炎、結腸狭窄、ストマ造設状態	回盲部切除、回腸部分切除、ストマ閉鎖術	1
多発回腸穿孔後、ストマ造設状態	回腸部分切除、回腸回腸吻合術	1
虫垂炎	待機的腹腔鏡下虫垂切除術	16
メッケル憩室	腹腔鏡補助下メッケル憩室切除、回腸-回腸吻合術	1
消化管穿孔	腹腔ドレナージ	2
	ストマ造設術	4
	回盲部切除、回腸結腸吻合術	1
	回腸部分切除、回腸回腸吻合術	1
原発性腹膜炎	腹腔鏡下腹腔内洗浄	1
腸重積症	非観血的整復術（高圧浣腸）	16
	観血的整復術（Hutchinson手技）	1
直腸肛門奇形	ストマ閉鎖術	4
	ストマ造設術	2
	腹腔鏡補助下結腸ストマ再創設術	1
	肛門形成術（PSARP）	2
	肛門形成術（ASARP）	2
腹腔鏡補助下肛門形成術	1	
直腸肛門奇形術後、直腸粘膜脱	粘膜切除術	2
肛門外陰部瘻	ストマ閉鎖術	1
肛門ポリープ	切除術	1
胆嚢ポリープ	腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
胆嚢結石、総胆管結石	腹腔鏡下胆嚢摘出術、総胆管ステント抜去	1

胆道閉鎖症（術後）	上部消化管内視鏡	6
先天性胆道拡張症	肝外胆管切除、肝管空腸吻合術、肝生検	1
	術後、肝内胆管結石	肝管追加切除、肝管形成、再Roux-en-Y再建、肝管空腸吻合
遊走脾	腹腔鏡下脾固定術	1
外傷性脾損傷	動脈塞栓術（TAE）	1
臍部洗腸路吻合部狭窄	臍部洗腸路造影、ブジー、ケナコルト局注	1
尿管管遺残	腹腔鏡下尿管管摘出術	1
	尿管管摘出術	5
腹壁破裂	サイロ形成術	1
	腹壁閉鎖術	1
臍ヘルニア	根治術	21
臍帯ヘルニア	サイロ造設術	2
	根治術	2
	腹壁閉鎖術（redo）	1
腹壁癒着ヘルニア	根治術	2
外疝径ヘルニア	根治術	93
鼠径ソケイヘルニア嵌頓、鼠径部腫瘤	腹腔鏡観察、鼠径ヘルニア根治術	1
鼠径ソケイヘルニア再発	腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術	1
	鼠径ヘルニア根治術	1
陰嚢水腫、精索水腫	根治術	17
精索水腫、Abdominoscrotal hydrocele	腹腔鏡補助下精索水腫根治術	1
停留精巣	精巣固定術	19
腎腫瘍（mesoblastic nephroma）	腎腫瘍摘出術	1
神経芽腫	腫瘍生検術	1
	腫瘍摘出術	2
卵巣腫瘍	腫瘍摘出術	2
	腹腔鏡補助下腫瘍摘出術	2
良性皮下腫瘍	腫瘍切除術	5
前胸部皮膚瘻	皮膚瘻摘出術	1
毛嚢洞	毛嚢洞切除術	1
リンパ管奇形	OK-432局注硬化療法	5
	切除術	1
頸部裂創	頸部裂創縫合閉鎖	1
消化管異物	透視下マグネットカテーテル摘出術	2
	透視下バルーンカテーテル摘出術	1
	内視鏡下異物摘出術	1
	CVカテーテル挿入、（ポート）抜去	CVカテーテル挿入
	CVカテーテル、ポート抜去	7
	CVカテーテル位置調整	1
ネフローゼ症候群	ブラッドアクセスカテーテル留置	1
	〃 抜去	1

小児泌尿器科と合同手術	S 状結腸利用膀胱拡大、回腸利用導尿路造設術、洗腸路造設	1
	回腸利用膀胱拡大術	1
	回腸導管造設術	1
	回腸利用腹壁導尿路造設術	1
	合計	411

3-2) 手術術式別件数・術後合併症件数

総手術症例数	411
合併症件数	4
再手術症例数	4

3-3) 新生児外科症例

症例	性別	病名	新生児期の治療
1	男	胎児腹水、陰嚢水腫	経過観察
2	女	限局性腸管穿孔	腹腔ドレナージ、ストマ造設術
3	男	腹壁破裂	サイロ造設術、腹壁閉鎖術
4	女	先天性食道閉鎖症 (GrossC型)	TEF切離、胃瘻造設術
5	女	小腸閉鎖症 (離断型)	小腸閉鎖症根治術
6	女	十二指腸閉鎖症、輪状臍	十二指腸-十二指腸吻合
7	女	先天性食道閉鎖症、18トリソミー	死亡
8	男	胆汁性嘔吐、腸回転異常症疑い	経過観察
9	男	嘔吐	経過観察
10	女	会陰溝	経過観察
11	女	尿管管開存症	尿管管切除術
12	女	右肺葉内肺分画症	手術予定
13	男	Hirschsprung病	直腸全層生検 (経肛門的Soave法)
14	男	腸回転異常症、多脾症候群	上部消化管造影
15	女	卵巣嚢腫	経過観察
16	男	肥厚性幽門狭窄症	ラムステッド手術
17	女	右卵巣嚢腫	経過観察
18	女	会陰溝	経過観察
19	女	肝突出、脊椎肋骨異形成	経過観察
20	男	Hirschsprung病	直腸全層生検、横行結腸ストマ造設術
21	男	Hirschsprung病	直腸全層生検、腹腔鏡補助下根治術 (Soave法)
22	男	両側頸部腫瘍 (副耳疑い)	経過観察
23	男	腹腔内嚢胞 (単純性肝嚢胞疑い)	経過観察
24	男	尿管管開存症	尿管管切除術

25	女	先天性食道閉鎖症 (GrossC型)	食道食道吻合術
26	男	臍肉芽	経過観察
27	女	臍帯ヘルニア	サイロ造設術、根治術
28	女	両側卵巣嚢腫	経過観察
29	女	Hirschsprung病疑い	経過観察
30	男	気管食道瘻疑い	経過観察
31	男	回腸穿孔	腹腔ドレナージ、ストマ造設術
32	女	胃泡拡大疑い	経過観察
33	女	臍帯ヘルニア、巨舌	サイロ造設術、根治術
34	女	直腸肛門奇形 (肛門皮膚瘻)	経過観察
35	女	肥厚性幽門狭窄症	ラムステッド手術
36	男	臍帯ヘルニア	サイロ造設術、根治術、回腸部分

4) 化学療法症例：すべて小児科との併診

5) 放射線療法症例：すべて小児科との併診

6) 悪性腫瘍：手術症例を参照

7) 手術死亡症例：0例

8) 死亡症例：0

回避しうる再入院：0

術後創感染：2

術後続発症：4

褥瘡発生率：0

9) 主な処置、検査：上部、下部消化管造影検査 (毎週木曜日午後)
超音波検査 (小児画像診断部に依頼し必要時適宜)

10) カンファランス

入院症例検討：毎日朝・夕

小児放射線カンファランス：(毎週月曜午後)

周産期カンファランス：(毎週月曜午後)

腫瘍カンファランス (Tumor board)：(毎月第3月曜日+必要時適宜：小児科、小児画像診断部、小児外科系関係各科)

二分脊椎カンファランス：(月1回；小児脳神経外科、小児泌尿器科、小児整形外科、看護部、PT)

栃木県小児外科症例検討会 (年2回)

関東小児外科症例検討会 (年2回)

11) キャンサーボード

参加診療科：小児外科、小児科、小児画像診断部、その他随時必要な小児外科系各科

実績：1年間に12回+ α

4. 2020年の目標・事業計画等

1) 小児外科スタッフのさらなる拡充

スタッフの体制の維持とシニアレジデント、大学院生の充実をはかる。新専門医制度開始に応じたレジデントローテーションを随時受け入れ、外科系全体の臨床充実に貢献する。

2) 学生教育

2年生、5年生、6年生への系統講義を継続し、6年生の講義枠を拡大。

5年生の必修BSLを単科1週間で担当、選択BSLの受け入れ。

小児外科セミナーを随時開講。

3) 臨床面での発展

栃木県内はもとより関東全域、東北地方の医療機関からも積極的に適応患者を受け入れ、医療圏のさらなる拡大をめざす。高度技能を要求される小児外科疾患の治療に対応すべく、更なる医療水準の向上に努める。

手術件数の増加を目指すとともに、小児外科に特化した手術内容の質の向上、充実をはかる。

4) 研究面での発展

臨床に即した問題点の解決をめざして、新たなりサーチプロジェクトを検討中である。難治性新生児疾患である気管狭窄症、A型食道閉鎖症に対する基礎研究のさらなる発展を進める。また、小児病理学の新たなる研究開発を実践し発展させる。